

科目名		演習Ⅰ（中国法と政治）	
担当教員	熊 達 雲	科目区分	演 習
開講区分	通 年	単 位 数	4 単 位
曜日時限	金曜・2時限	開講年次	1 年
到達目標	現代中国の政治体制の仕組み、法制度のあり方および政治と法律との相関関係に対するリアル的な分析、研究の力を身に付け、学修した知識を活かし、中国との関連する事務の処理能力を向上する。修士論文の構想を練っておくこと。		
授業概要	本演習の内容について担当教員はあらかじめ設定しないこととする。履修生の皆さんのチャレンジ精神によって内容の豊かな演習になるように期待する。ただし、履修生の皆さんが課題選択に参考を供するため、中国法と中国政治に分けて若干のテーマを提示しておく。なお、中国に起こった重要な出来事を取り上げて解説し議論を展開する場合がある。		
授業計画			
回数	内 容		
第 1 回	オリエンテーション		
第 2 回	講義：中国政治の研究に取り組むための切口について		
第 3 回	中国政治や中国の政治制度に関する書籍または文章を輪読し、内容をめぐって議論して理解する。		
第 4 回	中国政治や中国の政治制度に関する書籍または文章を輪読し、内容をめぐって議論して理解する。		
第 5 回	中国政治や中国の政治制度に関する書籍または文章を輪読し、内容をめぐって議論して理解する。		
第 6 回	中国政治や中国の政治制度に関する書籍または文章を輪読し、内容をめぐって議論して理解する。		
第 7 回	中国政治や中国の政治制度に関する書籍または文章を輪読し、内容をめぐって議論して理解する。		
第 8 回	改革開放政策の中国発展への影響（討論会）		
第 9 回	二年生による論文構成の中間報告		
第 10 回	中国政治や中国の政治制度に関する書籍または文章を輪読し、内容をめぐって議論して理解する。		
第 11 回	中国政治や中国の政治制度に関する書籍または文章を輪読し、内容をめぐって議論して理解する。		
第 12 回	中国政治や中国の政治制度に関する書籍または文章を輪読し、内容をめぐって議論して理解する。		
第 13 回	中国政治や中国の政治制度に関する書籍または文章を輪読し、内容をめぐって議論して理解する。		
第 14 回	「中国夢」とは何か（討論会）		
第 15 回	総括		
第 16 回	オリエンテーション		
第 17 回	中国法律や法制度に関する書籍または文章を輪読し、内容をめぐって議論して理解する。		
第 18 回	中国法律や法制度に関する書籍または文章を輪読し、内容をめぐって議論して理解する。		
第 19 回	中国法律や法制度に関する書籍または文章を輪読し、内容をめぐって議論して理解する。		
第 20 回	中国法律や法制度に関する書籍または文章を輪読し、内容をめぐって議論して理解する。		
第 21 回	1 年生による研究予定の課題の概要に関する報告		
第 22 回	中国法律や法制度に関する書籍または文章を輪読し、内容をめぐって議論して理解する。		
第 23 回	中国法律や法制度に関する書籍または文章を輪読し、内容をめぐって議論して理解する。		
第 24 回	中国法律や法制度に関する書籍または文章を輪読し、内容をめぐって議論して理解する。		
第 25 回	中国法律や法制度に関する書籍または文章を輪読し、内容をめぐって議論して理解する。		
第 26 回	中国憲法と中国共産党との関係（討論会）		
第 27 回	中国法律や法制度に関する書籍または文章を輪読し、内容をめぐって議論して理解する。		
第 28 回	中国法律や法制度に関する書籍または文章を輪読し、内容をめぐって議論して理解する。		
第 29 回	中国法律や法制度に関する書籍または文章を輪読し、内容をめぐって議論して理解する。		
第 30 回	総括と反省		
準備学習等 （課題・予習・ 復習・調査等）	課題ごとに予習資料の指定、講義後の討論に備える調査の要求。		
評価方法・基準 ・講評の方法	講義時の発言・中間報告書（50%）と期末のレポート（50%）で評価する。 講評は授業内で行うが、希望者には面談で行う。		

テキスト・参考書	テキストは指定しない。 参考書は随時に指定する。
前年度の授業を ふまえた今年度 の授業方針	授業計画の内容を限定せずに演習生の提起する課題も取り入れて授業を行う。
学生への メッセージ	しっかり資料を集め、内容をよく解読して、新しい発見を見出すこと。
授業に参考と なるサイト	中国法と政治特殊講義Ⅰ、Ⅱに掲載されたサイトを利用してください。
関連する画像	
その他・備考	